

令和7度(2025年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

脱炭素社会の実現に向けて、地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会を構築し、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加の下に次の事業を行いました。

1. 公益目的事業として、次の事業を実施しました。(公1)

(1) 啓発・普及活動に関する事業

ア. 市民工房の運営(受託事業)

市民工房は、市民の日常生活に密着し、修理・再生やそれに係る伝承技術の事例展示を目的として活動しました。ここではジェンダーやジェネレーションを問わず、来館者が楽しみながらリユース(再使用)及びリサイクル(再生利用)できるよう、修理・再生・リフォームの助言・指導を行いました。併せて再生材料を用いた成果品の展示を行いました。

木材の再生利用を行う木工工房、紙すきを通じて森林資源の保護を考える緑工房、自転車の修理と再生利用等を指導する自転車工房、また使用済み衣類のリフォームや活用方法を指導する布工房の諸活動により、市民が自ら実践を通じてCO₂削減による脱炭素社会、地球温暖化防止等をはじめとする環境問題を考え行動する場を運営提供しました。

| 工房名 | 対象品 | 見学者数 | 実技受講者数 | 成果品展示数 |
|-----------|------|--------|--------|--------|
| 布工房 | 衣類 | 1,622名 | 1,547名 | 54点 |
| 緑工房 | 紙パック | 479名 | 414名 | 0点 |
| 自転車工房 | 自転車 | 270名 | 170名 | 95点 |
| 木工工房 | 家具類 | 994名 | 805名 | 301点 |
| 合 計 | | 3,365名 | 2,936名 | 450点 |
| 合 計 (前年度) | | 3,757名 | 3,295名 | 542点 |

イ. 視察・見学者の対応(受託事業)

視察や見学では吹田市小学4年生の見学については教育委員会と連携を図り、他市小学校や、地域の自治会等の見学対応も行いました。多言語での施設パンフレットは、英語版・中国語版及び韓国語版をホームページに掲載し、ダウンロードできるように至便性を高めました。

| 区 分 | 団 体 数 | 人 数 | 前 年 度 | |
|-----------|-------|--------|-------|--------|
| | | | 団 体 数 | 人 数 |
| 小 ～ 大 学 生 | 50団体 | 4,844名 | 56団体 | 5,574名 |
| 市 民 団 体 | 13団体 | 213名 | 10団体 | 284名 |
| 行 政 | 3団体 | 9名 | 4団体 | 27名 |
| 民 間 企 業 | 3団体 | 32名 | 2団体 | 47名 |
| 海 外 | 7団体 | 181名 | 7団体 | 129名 |
| 計 | 76団体 | 5,279名 | 79団体 | 6,061名 |

ウ. 環境啓発動画コンテスト事業(受託事業)

地球温暖化防止やごみ問題における3Rの取組等について、SDGsの枠組みを踏まえ、コンテスト情報サイト等を通じて環境啓発動画を広く募集し、コンテストの実施により環境問題や環境保全への市民の積極的な活動参加を促しました。優秀作品は表彰するとともに、様々な機会を捉えて多くの市民の目に触れるようにし、市民目線で環境啓発を考える有効な成果物として活用していきます。

| 実施日 | 内 容 | 対象者 | 応募作品及び受賞作品数 | |
|---------------------------------|---|-----|---|---|
| | | | 本年度 | 前年度 |
| 応募期間 7月3日(木)～ 10月22日(水) | 「環境問題について一人一人が考え、行動しよう！」をテーマに、地球温暖化、プラスチックごみ問題、食品ロス、再生可能エネルギーの普及、生態系の保護など、幅広い環境課題を対象とした動画を募集しました。 若い世代を中心に、多くの人が環境問題への理解を深め、身近な行動につなげることを目的として実施しました。 専門家の意見を参考に、応募作品の審査を実施。 受賞式と受賞者から作品作りの工夫や苦労話など発表。 | 市民 | 応募作品数 79作品 【大学生・一般部門】 奨励賞3作品 【中・高生部門】 優秀賞1作品 奨励賞3作品 | 応募作品数 46作品 【大学生・一般部門】 優秀賞1作品 奨励賞1作品 【中・高生部門】 優秀賞1作品 奨励賞1作品 |
| 投票期間 11月14日(金) ～12月12日(金) | | | | |
| 応募作品審査 12月17日(水) | | | | |
| 表彰式 2月15日(日) | | | | |

エ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品、施設の活動内容に関する動画や環境問題の啓発につながるパネルや日本の優れた環境技術製品の展示にも努めました。また環境問題をSDGsに始まる世界共有の問題として認識し考えてもらうため、諸外国からの来館者に向け可能な限り英語などの多言語表示を行いました。
また、開催予定のポスターなどをフレームに入れイーゼルを使い、来館者への効果的な展示を実施しました。

② あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

市民から使用しなくなった衣類・食器・皮革製品やその他の未使用品の提供を受け、必要な市民に利用してもらう「あげます・もらいますコーナー」を常設し、HP、SNSやチラシ等での広報を通じて、幅広い市民の利用により資源のリユース(再使用)、リサイクル(再生利用)を促進しました。吹田市環境部からの依頼で、サステナブルファッション・プラットフォーム「oHOHo CYCLE PROJECT」への衣類提供に協力しました。

| 品 目 | 持ち込み品 | 持ち帰り品 | |
|-------------|---------|---------|---------|
| 衣 類 | 10,363点 | 8,384点 | |
| 食 器 | 8,072点 | 5,599点 | |
| 合 計 | 18,435点 | 13,983点 | |
| 件 数 | 795件 | 2,036件 | |
| 前 年 度 | 数 量 | 21,000点 | 16,441点 |
| | 件 数 | 865件 | 2,157件 |

③ 出張展示会(受託事業)

10月31日～11月2日の3日間、万博記念公園の東の広場にて開催された「ロハスフェスタ万博2025秋」に参加しました。昨年度に続き3回目の出店であり、プラザの啓発活動の紹介、工房成果品の展示販売、マイ食器啓発活動を行いました。今年度は手作りおもちゃATのワークショップ、布体験を開催し、ロハスの来場者にリユースの大切さを体験してもらいました。2月17日～3月1日に千里ニュータウンプラザ6階の吹田市立公益活動センター「ラコルタ」でぐるぐるプラザの活動について広く市民に知ってもらうため、市民工房の紹介や市民研究所の活動を展示しました。

④ 再生成果品等の販売(自主事業)

市民工房で再生した成果品(くるくるグッズ)や市民から提供された未使用品等(セカンド品)を展示し、廉価で販売しました。らっくdeプリマ第2期につきましては、第1期に引き続きプラザの建物工事の影響で出店者の商品搬入が困難と判断し中止とし、第3期については1月から3月にかけて開催しました。

| 工房名 | 対象品 | 成果品販売数 | 販売時期 | 販売品目 | 内容 |
|-----------|------|--------|------|----------------------------|----------------------|
| 布工房 | 衣類 | 78点 | 常時 | 衣類のリフォーム品 紙すき製品 木工小物 | 市民工房において再生した成果品を販売。 |
| 緑工房 | 紙バック | 35点 | | | |
| 自転車工房 | 自転車 | 91点 | 毎月 | 自転車 | 毎月1回の抽選販売。売れ残りは随時販売。 |
| 木工工房 | 家具類 | 313点 | 随時 | 家具 | 修理後(HPに掲載)随時販売。 |
| 合 計 | | 517点 | | | |
| 合 計 (前年度) | | 490点 | | | |

| 対象品 | 販売数 | 前年度 | 販売時期 | 販売品目 | 内容 |
|-----------------------|--------|--------|------|-------|--------------------------|
| セカンド品 (未使用の市民提供品等) | 1,899点 | 1,415点 | 常時 | セカンド品 | 市民から提供を受けた未使用の衣類・食器等を販売。 |

| らっくdeプリマ 出店 期間 | | 来室者数 | 出店数 | 出店形式 | 出店内容 |
|-------------------|----------|--------|-------|------------------------------------|--|
| 第1期 | 工事の為中止 | — | — | 4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック | 市民に場所を提供し、使わなくなったもの等、リメイク・リユース品を中心に展示し低額で販売。 |
| 第2期 | 工事の為中止 | — | — | | |
| 第3期 | R8年1月～3月 | 1,170名 | 50店舗 | | |
| 合 計 | | 1,170名 | 50店舗 | | |
| 合 計 (前年度) | | 5,332名 | 199店舗 | | |

オ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① もったいないバザール(受託事業)

市民、企業、学生団体、その他の外部団体等との協働による環境啓発活動として、リユースの大切さを楽しみながら学べる、おもちゃのかえっこバザール、衣類と食器の持ち帰り、環境に関するワークショップで構成するイベントを開催しました。また、10月24日に第3回実行委員会を行い次年度に向けての協議を行いました。

| 事業名 | 実施日 | 実施内容 | 参加者数 | 前年度 |
|--------------------------------------|-----------|--|------|------|
| | | | | 参加者数 |
| 令和7年度(第3回) もったいないバザール 第1回実行委員会 | 6月20日(金) | 実行委員会メンバーによる、本年度の実施内容や運営方法についての討議。 | 19名 | 21名 |
| 第2回実行委員会 | 9月12日(金) | | 17名 | 23名 |
| | | | | 22名 |
| もったいないバザール | 10月19日(日) | 雨天でも実施できるプログラムを計画し予定通り進行できました。ただし、前日に雨が降ったため、屋外の準備物は当日の朝8時に全職員が出動して準備を行いました。 | 408名 | 273名 |
| 第3回実行委員会 | 10月24日(金) | 実施内容の報告及びアンケートを紹介。各担当からの反省等を踏まえ、次年度に申し送りを行った。 | 14名 | 18名 |
| 合 計 | 4回 | | 458名 | 357名 |

② エコラボパートナーズ(自主事業)

施設活性化のために、当財団の事業目的に賛同し環境保全活動に取り組む市民団体、企業、学生等の様々な団体をエコラボパートナーズとして認定しています。当施設の貸室やその他スペースを利用し、展示会、講演会、イベント、教室等、連携を図り協働事業を実施しました。

| 開催事業名 | 実施回数 | 主催者 | 実施内容 | 受講者数 | 前年度 | |
|---------------------|------|-----------------------|--|------|------|------|
| | | | | | 実施回数 | 受講者数 |
| アート クレイシルバー | 39回 | 首藤みわ子 | 廃棄・回収されたスマホ等から採取し再生利用された銀粘土を利用したクレイシルバー教室を開催。 | 159名 | 36回 | 126名 |
| GECS体験 | 3回 | 大阪大学 環境ナール GECS | ペットボトルなどの廃材を使い創作する楽しさとリサイクルの重要性を学べるワークショップを開催。 | 61名 | 3回 | 49名 |
| お片付け教室 | 2回 | 茂梓弓 | お片づけをすることを通して、集まった受講者で楽しく考え、リデュースへの意識改革を促す講座を開催しました。 | 11名 | | |
| アップルパイ リース作り体験 | 1回 | 渋川京子 | 身近な植物を利用したリースやオーナメントの制作を通じて自然に親しんでもらう教室を開催。 | 9名 | | |
| 大学生チャレンジ ワークショップ | 1回 | 久保重加音 | 捨てられる紙をごみにしないで紙粘土を作り、クリスマスオーナメントを制作するリユースを啓発する教室を開催。 | 11名 | | |
| GECSクエスト | 1回 | 大阪大学 環境ナール GECS | 9月13日(土)に施設内の部屋を使い、その中で参加者の子供たちが謎解きやゲームを行いSDGsに関する環境問題へ興味・関心をもってもらうため開催しました。 | 11名 | 1回 | 14名 |
| 玩改アート | 1回 | いながき やすこ | 不要になったおもちゃなどを使ってアート作品を作り、その工程で環境教育を伝えるワークショップを開催しました。 | 28名 | | |
| 合計 | 48回 | | | 290名 | 40回 | 189名 |

(注)アートクレイシルバーは体験コース、6回コース、3回コースの実施をそれぞれ1回と数えます。

カ. 環境実践教室の開催(自主事業)

市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の環境実践教室を実施しました。

| 教室名 | | 1教室当 開催日数 | 実施回数 | 受講者数 | 延受講者数 | 前年度 | | |
|-------|------------|--------------|------|------|-------|------|------|-------|
| | | | | | | 実施回数 | 受講者数 | 延受講者数 |
| 布 | 布体験 | 1日 | 1回 | 7名 | 7名 | 1回 | 12名 | 12名 |
| 木工 | 木工体験 | 1日 | 3回 | 44名 | 44名 | 3回 | 43名 | 43名 |
| | 夏休みこども木工 | 1日 | 2回 | 34名 | 34名 | 2回 | 60名 | 60名 |
| クラフト | 革小物 | 1日 | 24回 | 22名 | 22名 | 24回 | 41名 | 41名 |
| | 夏休みレザークラフト | 1日 | 2回 | 0名 | 0名 | 2回 | 8名 | 8名 |
| おもちゃ | オイル万華鏡 | 1日 | 2回 | 25名 | 25名 | 2回 | 26名 | 26名 |
| 廃段ボール | 廃段ボール体験 | 1日 | 3回 | 50名 | 50名 | 3回 | 53名 | 53名 |
| | 夏休み廃段ボール | 1日 | 2回 | 10名 | 10名 | 2回 | 19名 | 19名 |

| | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|----|-----|------|------|------|-----|------|------|
| LED | LED体験 | 1日 | 2回 | 36名 | 36名 | 2回 | 31名 | 31名 | |
| ガラス エッセ | 夏休みフュージング | 1日 | 2回 | 10名 | 10名 | | | | |
| | フュージング体験 | 1日 | 3回 | 43名 | 43名 | 3回 | 45名 | 45名 | |
| 陶芸 | 陶芸形成体験 | 1日 | 1回 | 12名 | 12名 | | | | |
| | 陶芸絵付け体験 | 1日 | 2回 | 30名 | 30名 | 2回 | 30名 | 30名 | |
| | 夏休み陶芸絵付け | 1日 | 1回 | 5名 | 5名 | 1回 | 5名 | 5名 | |
| 自転車 | 自転車安全教室 | 1日 | 2回 | 5名 | 5名 | 2回 | 10名 | 10名 | |
| 海の生 き物 | 海の生き物観察会 | 1日 | 1回 | 4名 | 4名 | | | | |
| 施設見学後 体験 | 布体験 | 1日 | 7回 | 65名 | 65名 | 5回 | 47名 | 47名 | |
| | 木工体験 | 1日 | 12回 | 116名 | 116名 | 9回 | 85名 | 85名 | |
| その他 | ロハス(布体験) | 1日 | 1回 | 106名 | 106名 | | | | |
| | 包丁研ぎ | 1日 | 4回 | 37名 | 37名 | 3回 | 21名 | 21名 | |
| 合 計 | | | | 77回 | 661名 | 661名 | 66回 | 536名 | 536名 |

キ. イベントの開催(自主事業)

① フェスタ

| 事業名 (当初予定) | 実施日 | 内 容 | 参加者数 | 前年度 参加者数 |
|---------------|-----------|---|-------|-------------|
| ぐるぐるファミリーフェスタ | 5月18日(日) | 地域の子どもから大人まで幅広い世代に資源循環・リユースへの関心を持ってもらうことを目的に、「ぐるぐるファミリーフェスタ」を開催。今回は定番となっている廃材活用ワークショップに加え、初の試みとして「循環ガチャ」や「環境塗り絵」を導入し、体験型・参加型の環境学習イベントとして実施しました。 (注)前年度については、ファイナルフリマでの集客により参加者数が多くなっています。 | 約200名 | 約500名 |
| ぐるぐる夏フェスタ | 8月17日(日) | 親子で参加しやすい夏休み期間中に、地球環境保全や3Rの輪を広げるためにフェスタを実施しました。 木工、ガラス工芸、陶芸絵付け体験等の各種体験や廃段ボール工作・LED作品制作、市民研究所PTからは顕微鏡でプランクトンを見てみよう、手づくりおもちゃ体験、自転車安全整備教室、玩改アートのワークショップを行いました。 | 約170名 | 約170名 |
| ぐるぐるクリスマス | 12月14日(日) | 地球環境保全や3Rの輪を広げるためにフェスタを実施しました。 布、木工、ガラス工芸等の各種体験や廃段ボール工作、市民研究所PTからは顕微鏡でプランクトンを見てみよう、手づくりおもちゃ体験などを行いました。 また、吹田お話し会によるクリスマスにちなんだお話、影絵を提供しました。他にも食ロス削減・マイ食器持参啓発活動として、おにぎらずとみそ汁を販売しました。なお、体験参加者には食ロス削減を目的に商品化されたお菓子を配りました。 | 約170名 | 約250名 |
| 合 計 | | | 約540名 | 約920名 |

② その他の催し物

| 事業名 | 実施日 | 内 容 | 参加作品数 | 前年度 参加作品数 |
|-------------------|----------------|--|-------|--------------|
| くるくるアイデア コンテスト | 応募期間 | 応募期間:7月1日(火)~8月14日(木) 投票期間:8月15日(金)~9月14日(日) | 54作品 | 38作品 |
| | 投票期間 | 地球環境保全や3Rの輪を広げるために、SDGsも踏まえた様々な3R作品の展示発表会の場として開催しました。身近に3Rを意識するきっかけとなる啓発活動となりました。 | | |
| | 応募作品審査 | 展示会場及びインターネットでの市民の投票の合計獲得票数を基に、プラザ執行役員及び事務局が最終審査し優秀作品を選出。 優秀作品の制作過程での工夫等を本人が会場で説明後、表彰式を行いました。理事長賞1名、アイデア賞9名、キッズ部門賞2名という結果になりました。アイデア大賞に関しては該当するような作品がなかったため今回は受賞者はいません。アイデア賞に関しては該当する作品が多く5枠を9枠に拡大しました。 | | |
| | 表彰式 (9月28日) | | | |

| 事業名 | 実施日 | 内 容 | 参加者数 | 前年度 参加者数 |
|----------------|-----------|---|------|-------------|
| ソーラーカー 乗車体験 | 5月18日(日) | ソーラーカーそらくる号の広場での乗車体験を通して、楽しみながらクリーンエネルギーについて考える機会を提供する予定でしたが、雨天のため中止しました。 | — | — |
| | 12月14日(日) | ソーラーカーそらくる号の広場での乗車体験を通して、楽しみながらクリーンエネルギーについて考える機会を提供しました。 | 35名 | 46名 |
| 合 計 | | | 35名 | 46名 |

| 実施日 | 内 容 | 対象者 | 食品の預かり数及び持ち帰り数 | |
|------------------------------|--|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|
| | | | 本年度 | 前年度 |
| 食ロス あげます・もらいます 10月~11月 | 食品ロスを削減することをテーマに、くるくるプラザ館内に食品ロス削減啓発として展示。 賞味期限間近のものや沢山買いすぎたために食べ切ることが困難な未開封食品などを集め、それをイベントで必要な方に持って帰ってもらう「食ロスあげます・もらいます」実施しました。 | 市民 | 食品の預かり数 15点 食品の持ち帰り数 11点 | 食品の預かり数 61点 食品の持ち帰り数 30点 |

③ おもちゃ病院

毎月1回おもちゃ病院を開院し、市民の持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

| 実施日 | 修 理 件 数 | 前年度修理件数 | |
|-----|-----------|---------|-----|
| 第1回 | 4月20日(日) | 18件 | 16件 |
| 第2回 | 5月18日(日) | 10件 | 20件 |
| 第3回 | 6月15日(日) | 28件 | 13件 |
| 第4回 | 7月20日(日) | 14件 | 12件 |
| 第5回 | 8月17日(日) | 13件 | 11件 |
| 第6回 | 9月21日(日) | 24件 | 17件 |
| 第7回 | 10月19日(日) | 29件 | 26件 |

| | | | |
|------|-----------|------|------|
| 第8回 | 11月16日(日) | 6件 | 25件 |
| 第9回 | 12月14日(日) | 26件 | 34件 |
| 第10回 | 1月18日(日) | 17件 | 22件 |
| 第11回 | 2月15日(日) | 17件 | 15件 |
| 第12回 | 3月15日(日) | 22件 | 20件 |
| 合 計 | | 224件 | 231件 |

ク. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

令和7年4月～12月まで大阪関西万博リユース食器協働事業をNPO地域環境デザイン研究所ecotoneと(公財)京都市環境保全推進協会と3者で行ったことにより通常の貸出事業は停止しました。

令和8年1月～3月まではNPO地域環境デザイン研究所ecotoneとのリユース食器協働事業として運営、貸出事業を行いました。

リユース食器協働事業

| | | 件数 | 食器類 | 箸 等 | 前 年 度 | | |
|-----|----------|----|---------|-----|-------|--------|--------|
| | | | | | 件 数 | 食 器 類 | 箸 等 |
| 貸 出 | 吹田 市内 | - | - | - | 3件 | 1,560点 | 80点 |
| | 吹田 市外 | 7件 | 13,299点 | 47点 | 11件 | 5,594点 | 2,530点 |
| 合 計 | | 7件 | 13,299点 | 47点 | 14件 | 7,154点 | 2,610点 |

ケ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 調査・研究及び実践活動(受託・自主事業)

① 主担研究員による調査・研究(受託事業)

市民研究所の主担研究員が各々の専門の立場から廃棄物・環境問題について調査・研究を行いました。また環境教育企画グループ(PG)や施設案内・見える化企画グループ(PG)において、主担研究員と環境教育に精通した事務局メンバー、環境アドバイザーにより調査・研究を進めました。くるくるサロンでは、外部講師や大阪府立千里高校2年生の「総合的な探求の時間」の成果を発表していただき、世代を超えた交流の場となりました。今後は学生主体の進行を担うなど、学校との継続的な連携体制の構築をさらに進めてまいります。

| 事 業 名 | | 活動回数 | 内 容 |
|--------|-----------|------|--|
| P G | 環境教育 | 10 回 | プラザが提供する環境教育の質の改善・向上を図るとともに、吹田市の学校との環境教育の繋がりや関係の強化に向けて活動を行いました。 |
| | 施設案内・見える化 | | 吹田市のごみ処理施設見学プログラムの再構築について各施設と協議し、吹田市のごみ処理の一連の流れが明確に理解できる案内手法の考案により、小学生の環境学習効果を高める検討を始めました。 |
| | 国際化 | 4 回 | くるくるプラザパンフレットの英語版・中国語版及び韓国語版を作成し、ホームページに掲載してダウンロードできるようにしました。 |
| 計 | | 14 回 | (11回) |

(注)国際化企画グループ(PG)の活動回数は各パンフレット作成をそれぞれ1回としました。

()内は前年度

| 事業名 | 実施日 | 内容 | 参加者数 | 会場 |
|---------|----------|--|------|-------------------|
| くるくるサロン | 5月31(土) | 講和テーマ: 「仏教に学ぶ環境・社会・経済の統合」 オーガナイザー (公財)千里リサイクルプラザ 理事長 小幡範雄 | 22名 | つながりラボ (市民工房3) |
| | 8月10日(日) | 講和テーマ: 「バナナで読み解くSDGs 世界とつながる私たちの選択」 市民研究所長 三輪信哉 | 28名 | |
| | 11月9日(日) | 講和テーマ: 「楽しいゼロカーボン生活のつくりかた」 (有)ひのでやエコライフ研究所 代表取締役 鈴木靖文氏 | 17名 | 講義室2 |
| | 3月8日(日) | 講話テーマ: ・「カラスにゴミを荒らされないようにするには」 ・「犬猫のペットの殺処分数を減らすために私たちにできることはなにか～譲渡数を増やすためには～」 ・「レストラン企業の食べ残しの面における食品ロスを削減するために私達にできることはなにか」 ・「ミカンの葉にアレロパシーはあるのか」 大阪府立千里高校2年生 | 31名 | |
| 計 | | 4回 | 98名 | (4回 74名) |

()内は前年度

② 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動を行いました。なお4階に設置した市民研究所(つながりラボ)の整備を鋭意進めており、市民への活動内容の見える化にも取り組んでいます。

| プロジェクトチーム(PT) アクションチーム(AT) | 活動目標と内容 | 開催数 | |
|-------------------------------|--------------|---|-----|
| P T | 市民とお店をエコでつなぐ | <p>「食品ロス削減」は社会の大きな問題でもあるので引き続き研究し、一昨年から取り組んでいる「プラスチックごみ削減」(主に食品トレー、食品容器、ペットボトル)問題を研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の開発と改良 ・各自の研究テーマの進め方について協議 ・ごみゼロPTとの情報交流について協議 ・12月6日(土)研究実践報告会準備及び報告 ・エフピコ見学及び報告 ・7年度の活動報告書・8年度年間計画書作成 | 43回 |
| | 吹田ごみゼロシステム研究 | <p>ごみゼロ(すてるをなくす)へのシステム研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別テーマを追跡調査研究 ・ブログ発信の活性化 ・吹田市との情報交換の充実 ・プラスチック問題についての情報交換を市民とお店PTと計画 | 13回 |
| | 身近な環境を調べよう | <p>吹田市に点在する身近な環境を調べ、現状を把握するとともに、その保全の大切さを啓発しました。糸田川と同様に「池の観察チェックシート」を用いて環境調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の結果及び令和7年度を含めた3年間の結果を集約 ・インスタグラムでの発信 ・令和8年度以降の身近な環境調査の対象について検討(例)鎮守の森、竹林等 ・ため池冊子及び動画の作成 ・R8年度から10年度まで(3年間)の調査計画 ・令和7年度年間活動報告書.令和8年度年間活動計画書提出 | 39回 |

| | | | |
|-----------|------------|---|------|
| P T | SDGs啓発 | SDGs啓発を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・環境出前講座(学校への支援以外の団体)の拡充 ・他団体との情報交換や連携 ・PT新規メンバーの増員を検討 ・アンケート結果を分析し、今後の方向性を検討 ・環境出前講座で使用する教材やゲームの検討 ・来年度の活動計画および予算に関する検討 | 32回 |
| | 紙すき体験と環境 | 紙パックをリサイクル啓発することによって、資源循環型社会を構築することを目指し、ひいては世界の森林資源の保全に向けた研究活動を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・人員確保とチームメンバーのスキルアップに注力 ・アンケートにより紙パックのリサイクル状況を調査 ・チームが参加しやすい会議の開催時間に変更 ・出前講座の説明内容(パワーポイント)の見直し | 40回 |
| A T | 手作りおもちゃと環境 | 廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通して、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの増員に向け努力 ・就学前児童への対応を検討 ・新しいおもちゃの作成検討 ・World Cleanup Day(ごみ拾い)やロハスフェスタに参加 ・8/17のイベントで水車ボート作りを行った ・動画及びパワーポイントを作成完了 ・おもちゃのマニュアル本の検討 | 49回 |
| | マイ食器啓発 | リユース食器からマイ食器へ <ul style="list-style-type: none"> ・大阪関西万博にリユース食器啓発について調査実施 ・千里万博公園にてロハスフェスタに参加 ・くるくるクリスマスではおにぎらずを販売とマイ食器持参運動を実施 | 7回 |
| 合 計 | | | 223回 |
| 合 計 (前年度) | | | 225回 |

| 事業名 | 活 動 目 標 と 内 容 | 参加人数 |
|------------|---|-------------|
| くるくるつながり広場 | 市民と環境スクール修了生7名を対象に、12月20日(土)につながり広場を開催しました。参加者は各チームからの活動紹介を熱心に聞き、次回のつながり広場でも丁寧に市民研究員への参加を促していきます。 | 22名 |
| 合 計 | 1回 | 22名 (2回39名) |

()内は前年度

| 会 議 名 | 主催団体名 | 実 施 日 | 内 容 | 会 場 |
|--------------------|-------|----------|---|----------------|
| 第1回吹田市ごみ減量再資源化推進会議 | 吹田市 | 8月21日(木) | フードドライブの取組報告、ごみ減量に向けた取り組みを交流 | メイシアター |
| すいた環境教育フェスタ | 吹田市 | 2月7日(土) | くるくるプラザの紹介と市民研究所の環境啓発活動紹介、市民研究員によるポスターセッション | メイシアター |
| 第2回吹田市ごみ減量再資源化推進会議 | 吹田市 | 3月16日(月) | フードドライブやてまえどりキャンペーン、SAFについて報告 | 本庁高層棟3階リエゾンルーム |
| 合 計 | | 3回 | | (3回) |

()内は前年度

イ. 研究報告書の発行に関する事業(自主事業)

令和6年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、7月に発行しました。

ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載を行いました。

| 号数 | No. | 発行部数 | 配布先 |
|-----------|------|------|-------------------------------------|
| 2025年5月号 | 327号 | 400部 | 市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。 |
| 2025年8月号 | 328号 | | |
| 2025年11月号 | 329号 | | |
| 2026年2月号 | 330号 | | |

エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「くるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。

| 号数 | 発行月 | 発行部数 | 配布先 |
|------|-----|--------|-------------------------------------|
| 101号 | 7月 | 1,200部 | 市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。 |
| 102号 | 11月 | | |
| 103号 | 3月 | | |

オ. ホームページの公開及び情報スタジオコーナーの常設(自主事業)

財団ホームページの整備を行いました。また情報スタジオコーナーについては、室内のレイアウトを決定し機器を整備しています。また、市民研究員の活動拠点としても使用しています。

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

ア. 講演会の開催(受託事業)

| 事業名 | 実施日 | 内容 | 参加者数 | 会場 |
|-------------|-----------|--|------|----------|
| くるくる環境フォーラム | 6月 29日(日) | <p>【テーマ】「生活が変わる、未来が変わる！サーキュラーエコノミーのススメ」</p> <p>第1部「基調講演」 講演者：(公財)千里リサイクルプラザ 理事長 小幡範雄</p> <p>第2部「事例発表」 発表者：エイチツーオーリテイリング(株)、小川珈琲(株)、大和リース(株)、吹田市環境部環境政策室</p> <p>第3部「パネルディスカッション」 コーディネーター：主任研究員 花嶋温子 パネリスト：基調講演講師、事例発表者</p> <p>第1部の基調講演を踏まえて、第2部では衣・食・住の観点から3企業と行政の事例発表。第3部では、パネルディスカッションを行い、各団体の苦労話などを聞いたり、参加者からの質問を話題にするなど、テーマに沿った充実した内容を市民に提供しました。</p> | 69名 | マルチホール |
| 計 | | 1回 | 69名 | (1回 52名) |

()内は前年度

イ. 入門講座(自主事業)

① くるくるキッズ環境スクール

| 事業名 | 実施日 | 内 容 | 対象者 | 参加者数 | 会 場 |
|---------------|-----------|---|------------|------|-------------------------|
| くるくるキッズ環境スクール | 7月19日(土) | 開講式及び 出前講座(おもちゃ、紙すき) | 受講者 | 23名 | 講義室2 |
| | 8月6日(水) | 海の生き物観察会 (株)midica | 受講者 | 14名 | マルチホール |
| | 9月21日(日) | 自然観察会 (身近な環境PT) | 受講者 | 12名 | 南千里・牛ヶ首池 南千里地区公民館 |
| | 10月19日(日) | もったいないバザールでの かえっこバザールスタッフ体験 | 受講者 | 20名 | プラザ4階広場 |
| | 11月15日(土) | 環境関連施設へ親子で見学し、環 境問題について考えるきっかけとす る。 | 受講者 | 20名 | ひょうご環境体験館 (はりまエコハウス) |
| | 12月20日(土) | SDGs啓発PTによるゲーム他 及び閉校式 | 受講者 | 14名 | 講義室2 |
| 計 | | 6回 | のべ 受講者数 | 103名 | (6回 111名) |

(注)参加者数には保護者数も含まれます。

()内は前年度

② くるくる環境スクール

| 事業名 | 実施日 | 内 容 | 対象者 | 参加者数 | 会 場 |
|------------|-----------|----------------------------|------------|------|----------------------------|
| くるくる環境スクール | 6月14日(土) | 開講式及び 破砕選別工場、市民工房の見学 | 受講者 | 11名 | 講義室2 |
| | 6月29日(日) | 環境問題講演会聴講 | 受講者 | 11名 | マルチホール |
| | 7月12日(土) | 市民研究所出前講座 (SDGs啓発PT) | 受講者 | 11名 | 講義室2 |
| | 9月11日(木) | バス見学ツアー | 受講者 | 14名 | 関西リサイクルシステムズ/ 近畿電電輸送(株) |
| | 10月19日(日) | もったいないバザール | 受講者 | 3名 | くるくるプラザ |
| | 10月22日(木) | 埋立処分場見学 | 受講者 | 7名 | 大阪沖埋立処分場(フェ ニックスセンター) |
| | 12月6日(土) | 令和7年度市民研究所 研究実践発表会 | 受講者 | 8名 | 講義室2 |
| | 12月20日(土) | 閉校式とつながり広場 講話、市民研究員との交流 | 受講者 | 7名 | 講義室2 |
| 合 計 | | 8回 | のべ 受講者数 | 72名 | (8回 124名) |

()内は前年度

ウ. 環境出前講座の実施(自主事業)

身近な環境問題について考えてもらう事を目的に、小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とし、市民研究員が出向く実践講座について要請に基づき実施しました。

| 実施日 | チーム名 | 事業名 | 対象者 | 参加者数 | 会 場 |
|-------|----------------|------------|---------------|------|------|
| 4月23日 | (水) 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田第一 小学校児童 | 12名 | 講義室2 |
| 4月23日 | (水) 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田第一 小学校児童 | 12名 | 緑工房 |
| 4月30日 | (水) SDGs啓発 | 【クラブ支援】 | 佐竹台 小学校児童 | 18名 | 学校教室 |

| | | | | | | |
|-------|-----|--------------|---------------|--------------------------|-----|---------|
| 5月1日 | (木) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 北山田 小学校児童 | 19名 | 講義室2 |
| 5月1日 | (木) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 北山田 小学校児童 | 16名 | 講義室1 |
| 5月1日 | (木) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 北山田 小学校児童 | 20名 | 緑工房 |
| 5月7日 | (水) | SDGs啓発 | 【クラブ支援】 | 千里第二 小学校児童 | 32名 | 学校教室 |
| 5月14日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【クラブ支援】 | 山手 小学校児童 | 21名 | 学校教室 |
| 5月15日 | (木) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 吹田第二 小学校児童 | 20名 | 講義室1 |
| 5月15日 | (木) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田第二 小学校児童 | 19名 | 講義室2 |
| 5月15日 | (木) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田第二 小学校児童 | 12名 | 緑工房 |
| 5月18日 | (日) | 手作りおもちゃと環境 | 【ぐるぐるワークショップ】 | ぐるぐる ファミリー フェスタ来館者 | 15名 | マルチホール |
| 5月18日 | (日) | 身近な環境を調べよう | 【ぐるぐるワークショップ】 | ぐるぐる ファミリー フェスタ来館者 | 30名 | B棟4階ホール |
| 5月20日 | (火) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 西山田 小学校児童 | 20名 | 講義室2 |
| 5月20日 | (火) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 西山田 小学校児童 | 13名 | 講義室1 |
| 5月20日 | (火) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 西山田 小学校児童 | 17名 | 緑工房 |
| 5月22日 | (木) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 東佐井寺 小学校児童 | 13名 | 講義室1 |
| 5月22日 | (木) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 東佐井寺 小学校児童 | 19名 | 講義室2 |
| 5月22日 | (木) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 東佐井寺 小学校児童 | 20名 | つながりラボ |
| 6月3日 | (火) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田第六 小学校児童 | 18名 | 講義室2 |
| 6月3日 | (火) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田第六 小学校児童 | 19名 | 緑工房 |
| 6月4日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【クラブ支援】 | 千里第二 小学校児童 | 30名 | 学校教室 |
| 6月5日 | (木) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 千里たけみ 小学校児童 | 14名 | 講義室2 |
| 6月5日 | (木) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 千里たけみ 小学校児童 | 16名 | 緑工房 |
| 6月5日 | (木) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 千里たけみ 小学校児童 | 20名 | 講義室1 |
| 6月11日 | (水) | SDGs啓発 | 【施設見学後の体験】 | 山手 小学校児童 | 21名 | 学校教室 |
| 6月11日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【クラブ支援】 | 佐竹台 小学校児童 | 19名 | 学校教室 |
| 6月12日 | (木) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 高野台 小学校児童 | 17名 | つながりラボ |
| 6月12日 | (木) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 高野台 小学校児童 | 6名 | 講義室1 |
| 6月12日 | (木) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 高野台 小学校児童 | 15名 | 講義室2 |

| | | | | | | |
|-------|-----|--------------|----------------------|-----------------|-----|--------|
| 6月13日 | (金) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 吹田東 小学校児童 | 15名 | 講義室1 |
| 6月13日 | (金) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田東 小学校児童 | 20名 | 講義室2 |
| 6月13日 | (金) | 紙すき体験と環境 | 【施設見学後の体験】 | 吹田東 小学校児童 | 15名 | 緑工房 |
| 6月25日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【施設見学後の体験】 | 岸部第一 小学校児童 | 8名 | 講義室2 |
| 6月25日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【施設見学後の体験】 | 岸部第一 小学校児童 | 4名 | 講義室1 |
| 7月9日 | (水) | SDGs啓発 | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 16名 | 学校教室 |
| 7月9日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 山手小学校児童 | 20名 | 学校教室 |
| 7月9日 | (水) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 千里第二小学校児童 | 28名 | 学校教室 |
| 7月12日 | (土) | SDGs啓発 | 【出前講座・ぐるぐる環境スクール】 | 環境スクール生 | 11名 | 講義室2 |
| 7月19日 | (土) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・ぐるぐるキッズ環境スクール】 | キッズスクール生 | 11名 | 講義室2 |
| 7月19日 | (土) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・ぐるぐるキッズ環境スクール】 | キッズスクール生 | 11名 | 講義室2 |
| 7月27日 | (日) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・公民館】 | 岸二地区公民館一般市民 | 20名 | 公民館 |
| 7月29日 | (火) | SDGs啓発 | 【出前講座・教育課題研修】 | 教員 | 12名 | 講義室2 |
| 8月1日 | (金) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・公民館】 | 山手地区公民館一般市民 | 10名 | 公民館 |
| 8月6日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・公民館】 | 千一地区公民館一般市民 | 14名 | 公民館 |
| 8月7日 | (木) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・公民館】 | 豊中区内コラボセンター一般市民 | 15名 | 公民館 |
| 8月17日 | (日) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・ぐるぐるワークショップ】 | ぐるぐる夏フェスタ来場者 | 15名 | つながりラボ |
| 8月17日 | (日) | 身近な環境を調べよう | 【出前講座・ぐるぐるワークショップ】 | ぐるぐる夏フェスタ来場者 | 27名 | マルチホール |
| 8月23日 | (土) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・公民館】 | 北千里地区公民館一般市民 | 10名 | 公民館 |
| 9月3日 | (水) | SDGs啓発 | 【出前講座・クラブ支援】 | 千里第二小学校児童 | 29名 | 学校教室 |
| 9月10日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 15名 | 学校教室 |
| 9月10日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 佐竹台小学校児童 | 19名 | 学校教室 |
| 9月19日 | (金) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・施設見学後の体験】 | 青山台小学校児童 | 16名 | 講義室2 |
| 9月19日 | (金) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・施設見学後の体験】 | 青山台小学校児童 | 16名 | 講義室1 |
| 9月19日 | (金) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・施設見学後の体験】 | 青山台小学校児童 | 10名 | つながりラボ |
| 9月21日 | (日) | 身近な環境を調べよう | 【出前講座・ぐるぐるキッズ環境スクール】 | キッズスクール生 | 6名 | 牛ヶ首池他 |
| 9月24日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 山手小学校児童 | 21名 | 学校教室 |

| | | | | | | |
|--------|-----|--------------|----------------------|----------------|--------|---------------|
| 10月1日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 17名 | 学校教室 |
| 10月1日 | (水) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 山田第二小学校児童 | 30名 | 学校教室 |
| 10月1日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 佐竹台小学校児童 | 20名 | 学校教室 |
| 10月15日 | (水) | SDGs啓発 | 【出前講座・クラブ支援】 | 山手小学校児童 | 24名 | 学校教室 |
| 10月22日 | (水) | SDGs啓発 | 【出前講座・クラブ支援】 | 佐竹台小学校児童 | 20名 | 学校教室 |
| 10月22日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 16名 | 学校教室 |
| 11月1日 | (土) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・ぐるぐるワークショップ】 | ロハスフェスタ来場者 | 112名 | 万博記念公園 |
| 11月7日 | (金) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・施設見学後の体験】 | 山田第三小学校児童 | 19名 | 講義室2 |
| 11月7日 | (金) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・施設見学後の体験】 | 山田第三小学校児童 | 10名 | 講義室1 |
| 11月7日 | (金) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・施設見学後の体験】 | 山田第三小学校児童 | 14名 | 緑工房 |
| 11月12日 | (水) | 身近な環境を調べよう | 【出前講座・クラブ支援】 | 山手小学校児童 | 19名 | 学校教室 |
| 11月26日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 佐竹台小学校児童 | 18名 | 学校教室 |
| 11月26日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 13名 | 学校教室 |
| 12月14日 | (日) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・ぐるぐるワークショップ】 | ぐるぐるクリスマス来場者 | 22名 | マルチホール |
| 12月14日 | (日) | 身近な環境を調べよう | 【出前講座・ぐるぐるワークショップ】 | ぐるぐるクリスマス来場者 | 31名 | マルチホール |
| 12月17日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 山手小学校児童 | 19名 | 学校教室 |
| 12月17日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 11名 | 学校教室 |
| 12月17日 | (水) | 紙すき体験と環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 佐竹台小学校児童 | 20名 | 学校教室 |
| 12月20日 | (土) | SDGs啓発 | 【出前講座・ぐるぐるキッズ環境スクール】 | ぐるぐるキッズ環境スクール生 | 6名 | 講義室2 |
| 1月23日 | (金) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 16名 | 学校教室 |
| 2月4日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 千里第二小学校児童 | 29名 | 学校教室 |
| 2月4日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 佐竹台小学校児童 | 17名 | 学校教室 |
| 2月7日 | (土) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座】吹田市主催等イベント参画 | メイシアター来館者 | 30名 | メイシアター |
| 2月7日 | (土) | 身近な環境を調べよう | 【出前講座】吹田市主催等イベント参画 | メイシアター来館者 | 10名 | メイシアター |
| 2月20日 | (金) | SDGs啓発 | 【出前講座・クラブ支援】 | 豊津第二小学校児童 | 14名 | 学校教室 |
| 2月25日 | (水) | 手作りおもちゃと環境 | 【出前講座・クラブ支援】 | 千里第二小学校児童 | 29名 | 学校教室 |
| 2月25日 | (水) | 市民とお店をエコでつなぐ | 【出前講座・クラブ支援】 | 山手小学校児童 | 21名 | 学校教室 |
| 合計 | | | 計 | 84回 | 1,564名 | (100回 1,815名) |

()内は前年度

エ. 環境学習発表会動画及び展示の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を動画発表と展示発表を次のとおり実施しました。尚、メイシアターでの展示は環境教育フェスタと同時開催で行いました。

① 環境学習発表会(動画)

| 開催日(期間) | 開催場所(上映) | 参加校数(作品数) | 前年度 |
|------------------|---------------------|-------------|-------------|
| 2月7日(土) | メイシアター | 小学校5校(16作品) | 小学校3校(16作品) |
| 2月7日(土)～3月31日(火) | くるくるプラザホームページ(WEB上) | | |

② 環境学習発表会(展示)

| 開催日(期間) | 開催場所(展示) | 参加校数(作品数) | 前年度 |
|-------------------|-------------|------------------|------------------|
| 2月18日(水)～2月25日(水) | 千里ニュータウンプラザ | 小学校9校 (150作品) | 小学校6校 (150作品) |

オ. 大学関係等の支援(自主事業)

インターンシップ学生の受入れ状況は次のとおりでした。

| 区分 | 期 間 | 学校名 | 人数 | 内 容 |
|---|----------|---------|----|--|
| イ ン タ ー ン シ ッ プ プ ロ グ ラ ム | 8月19日(火) | 関西大学大学院 | 1名 | 「自転車工房」において、資源リサイクルセンターの実務補助研修を行いました。 廃棄自転車の分解・部品選別・再利用工程の補助作業を中心に、資源循環の仕組みや作業安全管理について学んでももらいました。 |
| 合 計 | | 1校 | 1名 | (1校 1名) |

()内は前年度

2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

(1) 施設の管理運営

ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、利用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

| 開館日数 | 使用件数 | 利用者数 | 使用料徴収額 | 前年度 | | | |
|------|------|---------|----------|------|------|---------|----------|
| | | | | 開館日数 | 使用件数 | 利用者数 | 使用料徴収額 |
| 292日 | 557件 | 12,935名 | 419,850円 | 291日 | 529件 | 13,377名 | 241,950円 |

イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。また、toto-nouプロジェクトとして施設の空間を整備し、初めて来館する市民にとっても分かりやすい案内表示を提供できるよう、計画の立案を進めました。

3. 管理事業(法人会計)

(1) 財団の管理運営業務(自主事業)

次期(令和9年～)の当施設の指定管理者選定について、当財団が十分な実力を兼ね備える存在として認知され信任に足ることを目的とし、管理運営能力の向上に努めるための取組みを実施しました。

ア. 財団と環境施設との連携事業

設立30年を過ぎ、施設の目的や機能等を見直し、新たな時代にふさわしい環境学習・啓発の拠点として再構築を図るため、近隣の環境施設である、「京エコロジーセンター」との連携による事業展開を進め、両施設が相互に協力・連携しながら取り組むための覚書を締結しました。

10月19日(日)開催の「もったいないバザール」には、(公財)京都市環境保全活動推進協会の井上企画広報部長が来館されました。また、10月25日(土)に同協会が主催した「日韓環境教育ミーティング」には小幡理事長が参加し、両者の連携を一層深めました。

3月9日(月)には、京エコロジーセンター開催の「第4回視察見学会(公開研究会)」に参加し、環境学習施設について情報交流を行いました。

イ. 大阪・関西万博リユース食器事業

令和7年4月13日(日)～10月13日(月祝)に開催された大阪・関西万博も無事終了し、NPO法人地域環境デザイン研究所 ecotone、(公財)京都市環境保全活動推進協会とのリユース食器協同事業については、開催当初は利用が進みませんでした。後半ではリユース食器の認知も広まり、万博を通じて世界に再利用に促す活動を広めることができました。

ウ. 表彰について

大阪府が実施した令和6年度「おおさか環境賞」に応募した結果、当団体のこれまでの取組が高く評価され、大賞を受賞しました。

さらに、この受賞を受けて大阪府から推薦を受け、環境省が実施する令和7年度「地域環境保全功労者表彰」において表彰候補者としてノミネートされました。その後、環境省による選考の結果、令和7年6月26日付で同表彰を受賞しました。

エ. 大阪・関西万博大阪ウィークへの参加について

令和6年度に大阪府の「おおさか環境賞」大賞をいただいたことにより、7月26日(土)に大阪・関西万博でのおおさかウィークで財団の環境活動及び取り組みを大阪ヘルスケアパビリオンのリボーンステージでプレゼンテーションを行いました。

オ. 第3次中期計画検討会議

令和9年度を初年度とする5年間の第三次中期計画の策定に着手しました。

本計画の策定にあたっては、次期指定管理に向けた対応を見据え、既存事業の洗い直しを行い、スクラップアンドビルドの考えに基づき検討を進めています。

なお、本計画については令和8年度中の完成を目指しており、引き続き検討を進めてまいります。

カ. 財団名称変更

これまでも時期を同じくして吹田市資源リサイクルセンター名称の変更や施設の有効活用のための貸室の指定、取扱変更等に係る条例の改正を実施いただくことが一貫性を保ち、施設を訪れる来館者にとって理解しやすく望ましいものと考え、吹田市に要望させていただいてきました。当財団としても次期指定管理者選定に向けた事業の分析や見直しの中で次世代のあるべき姿に相応しい名称について、変更のタイミングも含めた検討を今後とも進めてまいります。

附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補則する重要な事項」がないので作成しません。